

文部科学省 中小企業イノベーション創出推進事業（SBIRフェーズ3）  
宇宙分野（事業テーマ：民間ロケットの開発・実証）  
のステージゲート審査結果について

令和7年2月21日

文部科学省

一般社団法人低炭素投資促進機

令和4年度補正予算「中小企業イノベーション創出推進事業（文部科学省分）」の宇宙分野の事業テーマ（民間ロケットの開発・実証）について、外部有識者から構成されるステージゲート審査会において、以下の通り、予算の追加配分（注）を決定しました。

（注）フェーズ2の事業を加速し、事業目標を着実に達成するため、臨時のステージゲート審査会で審査の上、予算の追加配分を実施。

○ 事業テーマ「民間ロケットの開発・実証」

- ・ステージゲート審査件数：3件
- ・追加配分の決定件数：3件
- ・審査結果：書面審査、プレゼンテーション審査を実施。  
（詳細は別添1、審査委員は別添2の通り）

## 「民間ロケットの開発・実証」事業の概要とステージゲート審査結果

<p>代表スタートアップ：インターステラテクノロジズ株式会社</p> <p>事業計画名：小型人工衛星 打上げロケット ZERO の技術開発・飛行実証</p> <p>フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：20.0 億円</p> <p>フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：46.3 億円</p> <p>フェーズ2 追加配分額：14.4 億円</p>
<p>代表スタートアップ：将来宇宙輸送システム株式会社</p> <p>事業計画名：小型衛星打上げのための再使用型宇宙輸送システムの開発・実証</p> <p>フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：20.0 億円</p> <p>フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：50.0 億円</p> <p>フェーズ2 追加配分額：0.85 億円</p>
<p>代表スタートアップ：スペースワン株式会社</p> <p>事業計画名：増強型ロケットの開発、打上げ実証及び事業化</p> <p>フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：3.2 億円</p> <p>フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：12.3 億円</p> <p>フェーズ2 追加配分額：4.1 億円</p>

※上記の掲載順は、応募申請順に基づく。

(別添2)

事業テーマ：民間ロケットの開発・実証  
ステージゲート審査委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

(委員長)

上田 嘉紀 株式会社脱炭素化支援機構 取締役 専務執行役員

(副委員長)

松尾 亜紀子 慶應義塾大学 理工学部 機械工学科 教授

(委員)

笠原 次郎 名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム創成部門 教授

津田 佳明 ANA ホールディングス株式会社 執行役員 未来創造室長  
兼 新規事業開発部長

西村 竜彦 Frontier Innovations 株式会社 代表取締役社長 ジェネラルパートナー

姫野 武洋 東京大学 大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授